



みやしろの歴史と文化 そしてグルメを楽しむ 歴史ウォークが行われました

宮代は約2万年の歴史をもつ非常に古い町です。町内には、社寺や館跡、道しるべ、石碑などさまざまな貴重な文化財が数多くあります。

郷土資料館では、こうした町内の文化財や地域の歴史を知り、あわせて宮代グルメを味わっていただくこと、町の産業政策担当と共催で歴史ウォークを行っています。

今回は、今年行われたみやしろ歴史ウォークの様子をご紹介します。

山崎山周辺の文化財とほっつけ田の歴史を巡る

6月26日午後、役場を出発し、姫宮落堀、図書館、笠原沼落堀・横手堤、石橋関杵、赤松浅間神社、笠原沼のホツツケをめぐり、逆井新田落堀・内郷用水を見て、新しい村のブルーベリー園のところで休憩し「ラベンダーネード」を試飲しました。その後、その後、山崎遺跡、第六天分水、伏越や埼玉県最古の鍛冶工房跡である山崎山遺跡を眺め、山崎南遺跡、重殿社と周辺に広がる山崎山の雑木林を見学しました。中須用水、蓮谷稻荷神社を巡り、その後、「みや

しろ棒餃子」や「みやしろ餃子」を試食し、お腹も満たされ、皆さん疲れもふきとんだ様子でした。さらに、辰新田の浅間社を見学して解散しました。



鎌倉街道とメイドイン宮代

第2回目は、10月16日宮代町を通る鎌倉街道沿いの文化財を歩き、メイドイン宮代を味わうコースです。

和戸駅を出発し、鎌倉街道の道筋をたどりながら、長福寺、権現台、真蔵院・薬師堂、発掘調査地点、東条原鷲宮神社を見学し、道筋から離れ久米原学校跡の大聖院、宝光寺、矢部酒造之丞の石碑、須賀小学校カヤ、カエデの木を見て、須賀村役場跡を見学しました。その後、御成街道を歩き、途中、せんべいづくりの様子を見ながら試食しました。和戸公民館・須賀村役場跡、埼玉県最古の和戸キリスト教会を見学し、茶まんの試食に舌鼓をうち、煉瓦の橋台、姥谷落・備前堀を見て、和戸駅に戻りました。



絵図から見る西光院から西原地区

11月23日特別展「江戸時代の絵図」に関連して、江戸時代の絵図面の資料もって、現地を歩き今と昔の様子をたずね、メイドイン宮代の試飲・試食をしました。

姫宮駅を出発し、西光院や周辺の寺院跡、五社神社、鈴木雅楽助館跡、島村盛助宅・島村繁碑、百間陣屋跡を見て、郷土資料館でブルーベリーやイチゴの酢ジュースで疲れを癒し、特別展「江戸時代の絵図」や平安時代後期から鎌倉時代初期の阿彌陀如来坐像(町指定文化財)を見学しました。姫宮に向かい、メイドイン宮代の塩あんびんの試食を行い、姫宮神社を見学し、姫宮駅に向かい解散しました。



それぞれ、町の歴史とグルメを堪能し、楽しく歩くことが出来たようです。「健康にもいいし、今まで知らないことがいろいろ分かった」、「楽しかった」、「メイドイン宮代の食べ物もおいしかった」などの感想が寄せられました。熱心にメモを取る姿も印象的でした。

次回は、2月頃を予定しております。お見逃しなく。

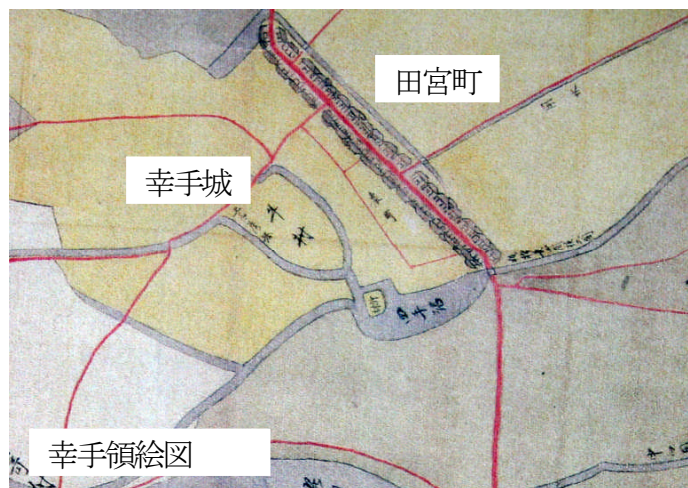
特別展 江戸時代の絵図

宮代町郷土資料館では、平成22年度の特別展として「江戸時代の絵図」を開催しました。

宮代町には旧百間村地区を中心に数多くの絵図が伝えられています。今回の展示会は宮代町郷土資料館で保管する絵図について、できるだけ多く展示いたしました。

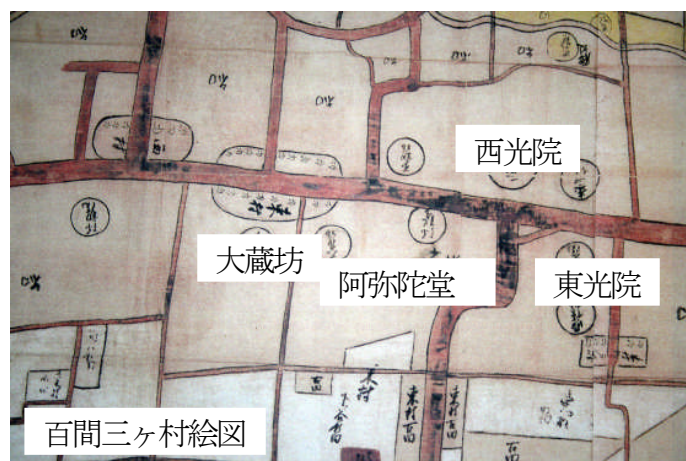
ここでは、今回展示した絵図の中で特に興味深い絵図についてご紹介したいと思います。

まずは、幸手領絵図です。幸手領というと幸手市周辺と思われますが、北は鷲宮から南は春日部までの広大な範囲を言い、戦国時代古河公方足利氏の家臣であった幸手一色氏の影響のあった範囲と考えられています。この絵図は延宝年間(1673~1681)に書かれたものを明治4年に写したものです。注目すべきは、幸手宿が田宮町と記載されていることです。言い伝え等によると幸手は古くは田宮と呼ばれていたそうです。絵図に田宮町と記載されていることは、この当時まで幸手が田宮と呼ばれていたことになり非常に興味深いといえます。田宮町の南側には楯円形に堀が巡らされています。これは幸手城の跡です。幸手一色氏の居城で今の幸手駅付近です。



次は、百間三ヶ村絵図について述べてみたいと思います。この絵図は百間中島村の名主宅で見つかりました。百間中島村は百間中村、百間須賀村と共に百間三ヶ村と呼ばれ、旗本池田氏の領地でした。このため、この絵図には百間村だけでなく、須賀村も描かれています。須賀村には絵図が殆ど残っていないため非常に貴重といえます。身代神社や身代池、

真蔵院や金剛寺、日光権現社等も描かれています。この他、西光院付近の末寺や塔頭についても詳しく描かれています。



次は須賀村絵図についてご紹介したいと思います。この絵図は断簡で須賀村の東端部のみしか描かれていませんが、非常に貴重な情報が記されています。笠原沼が開発されていないことから、江戸時代前期の絵図であることが分かります。この他に重要なのは古利根川に「杉戸町江舟渡シ」と記載されていることです。この場所は現在の河原橋にあたります。江戸時代前期、河原橋はなく船着場があったことが確認できました。



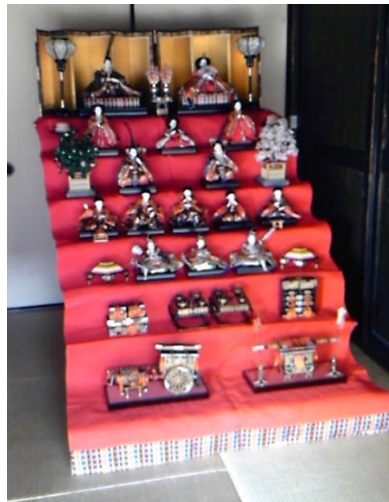
須賀村絵図

今回の特別展で展示できなかった絵図としては岩槻城絵図があります。この絵図は江戸時代中期の岩槻城絵図では全国唯一のもです。そのため、11月27日の特別展関連講座では岩槻城絵図を公開し講師の林貴史先生に解説いただきました。今後、これら公開できなかった資料については、講座等で公開したいと考えています。

次回の企画展は「おひなさま」です！

資料館では、毎年2月の半ば頃から4月にかけて、旧加藤家住宅におひなさまを展示しています。楽しみに来館してくださる方も多く、好評をいただいております。

また、大切な人形を資料として寄贈してくださる方もあり、収蔵品としてのおひなさまも年々増えつつあります。



旧加藤家住宅での展示風景

しかしながら、旧加藤家住宅自体が指定文化財としての屋外展示物であり、季節的環境からも、多くのおひなさまを飾ることができずにいました。

次回の企画展は、平成22年度第3回企画展として、これまで資料館に寄贈されたおひなさまの中から、新しく収蔵品となったものを中心に展示をする予定です。段飾りのおひなさまをいくつか展示しますので、華やかな展示になりそうです。

この企画展の会期は1月8日（土）から4月17日（日）までです。期間中の休館日は1月11・17・24・31日、2月7・14・15・21・28日、3月7・14・22・28日、4月4・11日となります。

寒い時期ではありますが、皆様お誘いあわせのうえお越しくださいますよう、お待ち申し上げます。

資料館日誌抄

- 7月17日 企画展「みやしろの動物たち」（10月24日まで）
- 8月3日 学芸員実習（8月19日まで）
- 8月4日 体験学習 郷土資料館へ行こう（8月26日まで）
- 8月7日 かやぶき民家で聞く昔話
- 8月8日 移築民家と「アタシイゲキ」7
- 8月10日 教員5年次研修（8月12日まで）
- 8月11日 伝承旗本服部氏屋敷跡試掘調査
- 8月31日 土器づくり教室（土器焼き）
- 9月7日 笠原小学校3年生企画展見学（59名）
- 9月8日 地藏院遺跡試掘調査
- 9月9日 宿源太山遺跡試掘調査
- 9月10日 百間小学校4年生笠原沼展示見学（85名）
- 10月8日 南池袋小学校社会科学見学（82名）
- 10月14日 伝承旗本服部氏屋敷跡発掘調査（10月22日まで）
- 10月16日 みやしろ歴史ウォーク（鎌倉街道）
- 10月30日 特別展「江戸時代の絵図」（12月26日まで）
- 11月12日 笠原小学校4年生笠原沼展示見学（44名）
- 11月23日 みやしろ歴史ウォーク（西光院と西原）

- 11月27日 特別展開連講座「江戸時代の絵図と宮代町」

資料館寄贈者名簿

- | | |
|----------|----|
| 深井五左衛門 氏 | 民具 |
| 朱 炳煌 氏 | 民具 |
| 戸田 まさ 氏 | 民具 |
| 枳尾 俊光 氏 | 資料 |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 40号

発行日 平成22年12月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>